

## 第5回 「今、憲法を学んでみませんか？」

2017.12.2

講師／安田純治（弁護士）

私は生まれが昭和6年で、昭和19年4月2日に茨城のパイロット養成所に入った。

15歳、初等科6年生だった。君こそ次の荒鷲だと言われ、1年4ヶ月軍隊生活を送った。戦後3年目、中学校の野球の試合で応援の進軍ラップを聞いて、ショック症状になり、それ以後野球が嫌いになった。トラウマ、拒否反応があった。

今、若い人に戦争はどういうものであるか、伝わったのだろうか？

一方は言ったってわからないと口を閉ざしたし、一方は一生懸命力を込めて話す。それでは伝わらなかったんじゃないか？今の北朝鮮のアナウンサーは日本の戦時中と同じだ。天皇陛下は神様だった。

天皇の事が載った新聞記事は学校に持っていった。粗末にしないために。

大戦前、abcd包囲網といって、日本は、アメリカ・イギリス・フランス・オランダから経済封鎖を受けた。それと今の北朝鮮はそっくりだ。

今の若い人は、(中国、朝鮮) そしる前に昔を考えて欲しい。

こないだ、シンガポールの人と会った。

日本人がシンガポールの中国系シンガポール人の虐殺の記念碑の前で記念撮影をしている。

殺してやりたいと思ったと言っていた。こういうと自虐史観だと言われる。

明治以降、日本は朝鮮半島の人を何十万人、何百万と日本に拉致してきた。出稼ぎに来た人もいる。戦後60万人が残った。会津の鉾山にも連れてこられた。

その人々は朝鮮半島に家がなく、日本には保証もなく、できたのは水商売だった。

今やったことの鏡をみている。早く若い人にそんなことをキャッチしてほしい。

今の自衛隊は、紙一重のところ軍隊ではない。

軍隊には、必ず軍事法廷がある。

これがなく裁判し、だれでも傾聴できたなら、全ての作戦の裏・表がわかる。

前線で歩兵が居眠りしたり、逃亡したり、上官に逆らえば死刑となる。

もし、軍事法廷がない中、銃を盗んだとすれば、武器窃盗だけで済む。

戦争では死ぬか、かたわ？になる。死刑制度がないと、死ぬより良いと逃げる人は逃げちゃう。人が逃げても俺は逃げないぞ、なんて人がいるがそれはウソ。周りがバラバラ逃げ出したら、先に逃げるか後に逃げるかだ。中国の故事から、50歩100歩という言葉があるが、ちょっと勇敢か臆病かだ。逃げるのが罪にならないのであれば、よほど気が変でなければ逃げる。戦争中、爆撃を受けたら、目と耳を押さえた。3.11の地震とはわけが違う。

そんな中で逃げないでいられるか。…つづく。

\*自民党の憲法改正案には、内閣総理大臣を最高司令官とする国防軍が明記され、国防軍に審判所を置くとしています。